

# 引野町に新社屋を竣工

SRホールディングス

## 機能性向上で顧客シェア

クリエイティブがコンセプト

物流業の昭和陸運(株)を中核とする持株会社のSRホールディングス(株)(福山市引野町4-1-8、荒木栄作CEO、電084・941・8150)は、同所に新社屋を稼働させた。100人収容のセミナールームは社内外で活用し、アパレル商品や映像、取扱商材含めたグループ10社の商品群を紹介する展示スペースも新設した。本社の機能性を高めることでグループ間での顧客シェアを推進しシナジー効果を期待する。

新社屋は敷地1558㎡に鉄骨造り3階建て延べ1650㎡。総工費は5億円規模。2階部分に事務機能を集約し1



1階の展示スペースの福山市の未来予想のジオラマの前で談笑する荒木CEO=左端

階部分はショールームとしグループ企業の紹介パネルや福山市のジオラマに主力の物流サービスなどを盛り込むことで来客者に自社のサービスをPRする。

同所にはグループ各社の管理本部を置き、人員は30人体制。BGMの流れるオフィスではミーティングスペースでスタンディングで会議をするなど時短化など働き方改革にも着手。応接室や会議室にはダヴィンチやダーウィン、ガウディ

といった偉人の名を付けることでクリエイティブで愛着が湧くイメージを演出。また食堂スペースもカフェ調にすることで福利厚生面も拡充した。

荒木CEOは「新社屋はグループ企業の創造的なハブ拠点として機能させたい。オフィスとしての機能面のみならず、多様な価値観を受け入れる開放的な建築デザインが特徴。ITを活用した働き方改革にも着手したい」と話した。

同社は昭和陸運(株)や協栄商事(株)、アイデアル(株)、岡山第一ビデオ(株)(岡山市)、山陽エイブイシー(株)(同)、アパレルメーカーの(株)エスケイトレーディン

グ(大阪市)、アパレルECの(株)ケイエムシー(東京都)などで構成。グループ従業員は150人。年商は52億円規模。